

事業番号	09 04 01	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検	
事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
		実施期間	H17 ~	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現				
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成 2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 現状と課題

目指す姿	長野県の園芸作物(果樹、野菜、花き、きのこ)は、県農業農村総合生産の約70%、(2,097億円/県全体2,983億円 平成30年県推計)を占める主要部門であり、レタス、りんご、カーネーション、えのきたけなど全国シェア上位品目をはじめ、質の高い多様な品目・品種がバランスよく生産されている。 引き続きマーケットインの生産を基本に、県内で育成されたオリジナル品種や本県の立地条件を活かした販売力の高い品目・品種の導入、拡大等を進めることにより、競争力の高い園芸産地を実現する。	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 生産流通コスト低減や付加価値の高い生産・供給体制の確立に向けた施設整備、新たな技術の現地への普及等に必要な機械等の導入を支援 スマート農業技術の効果を生産者が実感できるよう、生産者への「お試し導入」を実施 技術者向け研修会の開催、新品種・新技術の実証圃、モデル圃を設置 	
令和3年度の点検結果 ・ 現状分析	課題	今後の方向性
	需要に応じた計画生産や高品質・安定供給できる産地構築のためには、機械化や施設化、スマート農業技術の一層の推進が不可欠であり、意欲ある経営体により導入しやすい仕組みが必要である。	園芸品目の分野ごとの特徴や本県の気象条件を活かし、マーケットニーズに対応した産地の構築に向けて、機械化や施設化、スマート農業技術の一層の普及促進を図る。 県オリジナル品種の高品質栽培技術や、環境モニタリングシステムの活用法などの習得、新技術の普及促進に向けて、モデルほ場の設置や農業者・指導者向けの研修会の開催、各種マニュアルの整備を進める。

2 令和4年度事業内容

補正予算のポイント ・ 主な取組(予定)	【園芸産地強化対策整備事業】 事業取り下げによる減額と事業採択団体の変更による財源更正等
	【施設園芸燃油価格高騰対策設備導入支援事業】 事業計画規模に合わせた補助金の減
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【DX】環境モニタリングシステム等スマート園芸技術の導入・活用推進 【ゼロカーボン】生分解性マルチ利用推進に向けた実証ほの設置や検討会開催の支援 【学びの県づくり】施設園芸指導者向けスマート農業講座の実施

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R4年度目標値
1	生産振興を目的とした研修会開催回数	回	31	47	↑	40	↓	40
2	果樹戦略品種等の栽培面積(シナリップ、クイーンルージュ等)	ha	2,390	2,534	↑	2,768	↑	2,826
3	りんごの高密度植・新しい化栽培面積	ha	358	520	↑	590	↑	735
4	夏秋期のレタス、ハクサイ、キャベツの全指定産地出荷量に占める契約割合	%	47.1	56.6	↑	52.0	↓	40.8
5								

事業コスト	区分(単位:千円)		R2年度	R3年度	R4年度
	予算額	前年度繰越	306,400	128,007	1,039,997
		当初予算	1,053,504	1,579,334	1,424,235
		補正予算	-467,695	-254,767	-213,283
		合計(A)	892,209	1,452,574	2,250,949
		うち一般財源	58,832	53,618	55,028
	決算額(B)	703,633	388,380		
	職員数(人)	3.1	3.1	3.1	

設定理由	成果指標	1.研修会の開催は新技術・新品種の普及や栽培技術向上を図り、生産性向上等の生産振興につながるものであるため指標として設定 2.県オリジナル品種等への改植・新植により県内果樹生産者の所得向上が見込まれ、競争力の高い産地形成を実現する指標として設定 3.早期多収・省力化栽培技術導入による早期多収・高収量等経営改善に向けた取り組みを推進する指標として設定 4.生産者の経営安定と消費者への安定供給の実現を示す指標
	目標値	1.果樹・花き・野菜各協議会の次年度計画策定会議により決定された事業計画における予定回数(果樹10回、花き15回、野菜15回)の合計 2.第3期食と農業農村振興計画の目標値から算出 3.第3期食と農業農村振興計画の目標値から算出 4.第3期食と農業農村振興計画の目標値から算出

事業番号	09 04 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	園芸総合対策事業			部局	農政部	課・室	園芸畜産課

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
1	信州農業生産力強化対策事業	55,593 千円	52,013 千円	当初 52,078 補正 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	信州農業生産力強化対策事業	補助金	長野県農業の多様な生産力の強化を図るため、新たな技術の現地への普及やマーケットニーズに対応した産地の育成に必要な機械・施設等の導入等を支援	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
2	皆で取り組む園芸振興事業	3,355 千円	3,105 千円	当初 2,950 補正 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	果樹の早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル品種の生産振興	補助金	リンゴにおける高密度植・新しい化栽培推進のための研修会等の開催や、ぶどう「クイーンルージュ®」の普及促進に向けたモデル園の設置を支援。(研修会・検討会の開催10回)	
2	新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入	補助金	カーネーション、トルコギキョウ等、主要切り花の需要期出荷量・品質等の向上に向けた実証ほの設置、検討会の開催を支援。(実証ほの設置15カ所)	
3	野菜の生産振興及び多品目化等実需者の求める野菜生産の推進	補助金	露地野菜における省力化・安定生産技術や、施設果菜類におけるスマート農業技術の普及に向けた実証ほの設置、検討会の開催を支援。(実証ほ・モデルほの設置15カ所)	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
3	園芸産地強化対策整備事業	526,594 千円	1,265,332 千円	当初 1,364,839 補正 <u>-336,283</u> 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	園芸作物産地基幹施設等の整備	補助金	生産・流通コストの低減や高品質で付加価値の高い生産・供給体制の確立等を図るため、野菜・果樹・花き集出荷施設の整備等を支援	

事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
4	スマート園芸普及加速化事業	267 千円	189 千円	当初 440 補正 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	施設園芸指導者向けスマート農業講座	直接	普及指導員、JA技術員等を対象に環境モニタリングや、それを活用した環境制御技術、養液栽培の体系的セミナーを開催(3回)。	
2	スマートハウス栽培実践産地育成支援	直接	環境モニタリングシステムを通信料のみ利用者負担で貸出し。(5台)利用者間で情報交換やグループ学習できる体制づくりを支援。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
5	グリーン園芸転換推進事業	0 千円	3,928 千円	当初 3,928 補正 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	廃プラスチック、化学肥料、化学農薬の削減技術の推進	補助金	化学肥料削減に向けた有機質肥料の実証試験等を支援(レタス等の葉菜類)	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
6	施設園芸燃油価格高騰対策設備導入支援事業	0 千円	0 千円	当初 補正 <u>123,000</u> 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	省エネルギー設備導入に取り組む事業実施主体の支援	補助金	施設園芸農家の省エネルギー設備(ヒートポンプ、保温カーテン等)導入を支援	